

# お知らせ

2019年12月5日

一般財団法人日本アマチュア無線振興協会  
(JARO)

## ドローンのアマチュア無線利用でJUIDAとの連携スタート

JAROでは、ドローンのFPVでのアマチュア無線利用における利便性の向上を図るため、[一般社団法人日本UAS産業振興協議会 \(JUIDA\)](#) ※との連携を進めています。

その一環として、本日から、JUIDAが監修する「ドローン専用飛行支援地図サービスサイト・[SORAPASS](#)」の会員を対象として、アマチュア無線技士養成課程（eラーニング）の受講支援と、ドローンのFPVを利用するアマチュア無線局の開設支援をスタートしました。

詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

SORAPASSの運営会社・ブルーイノベーション(株)の[プレスリリースはこちら](#)

JAROでは、今後もドローン関連イベントへの参加や普及啓発においてJUIDAとの連携を図っていく考えです。

※ 一般社団法人日本UAS産業振興協議会 (JUIDA) は、日本のUAS（無人航空機システム）産業の振興と健全な発展を目指し、2014年7月に設立された団体です。

JUIDAでは、傘下220余りの認定スクールを通じて、これまでに約1万名のドローンパイロット等を育成しています。

FPV：(First Person View／一人称視点) カメラと映像送信装置を搭載したドローンで、撮影した映像をGoogleなどでリアルタイムに見る機能です。

マイクロドローンなどのFPVでは、アマチュア無線バンドの利用が一般的であり、利用にあたっては、電波法により、アマチュア無線局の免許と無線従事者資格が必要です。